

平成29年度宮崎大学農学部編入学学生募集要項

1 募集人員

学 科	募 集 人 員	受 入 年 次
植 物 生 産 環 境 科 学 科	若 干 人	3 年 次
森 林 緑 地 環 境 科 学 科	若 干 人	3 年 次
海 洋 生 物 環 境 学 科	若 干 人	3 年 次
畜 産 草 地 科 学 科	若 干 人	3 年 次

2 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 学士の学位を有する者及び平成29年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (2) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び平成29年3月までに卒業見込みの者
- (3) 修業年限4年以上の大学に平成29年3月までに2年以上在学（休学期間は除く。）し、62単位以上修得している者及び修得見込みの者
- (4) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上であること。）を満たすものを修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者（ただし、大学入学資格を有する者に限る。）
- (5) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者でかつ独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の所定の教科・科目・〔日本語、理科(科目選択は指定しない)、数学(コース選択は指定しない)：出題言語は日本語指定〕を受験した者

(注)「出願資格(5)」で出願しようとする者は、出願資格等の確認を行いますので、必ず事前に電話等により照会してください。

3 出願手続等

- (1) 出願期間等

平成28年6月3日(金)～6月14日(火) [必着]

郵送の場合：必ず書留速達としてください。

持参の場合：受付時間は、土・日を除く8時30分から17時までです。

- (2) 出願書類提出先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

宮崎大学農学部教務・学生支援係

電話 (0985) 58-3834 [直通]

- (3) 出願書類等

志願者は、次の出願書類等を取りそろえ、本要項に添付されている指定の封筒（「編入学願書在中」）を使用して提出してください。

出 願 書 類 等	備 考 (注 意 事 項 等)
1 編 入 学 志 願 票	・ 本学所定の用紙を使用してください。
2 受 験 票 ・ 写 真 票	・ 本学所定の用紙を使用してください。

3	卒業（見込）証明書	・出身学校等の長（学長、学部長、学校長）が作成したもの。 ※出願資格（３）による出願者は、当該大学の学長（学部長）が作成する在学証明書又は在学期間証明書を提出してください。 大学評価・学位授与機構から学位を授与された者は、学士の学位授与証明書を提出してください。 ※出願資格（４）による出願者は、定められた出願資格を満たすことを証明する下記の書類を提出してください。 1）修業年限が２年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が１，７００時間以上の専門課程を平成２９年３月までに修了見込みであること、または修了したことを証明する書類 2）専門士の称号付与が認められた専門課程を平成２９年３月までに修了見込みであること、または修了したことを証明する書類 3）大学入学資格を有する者であることを証明する書類（高等学校卒業者は「高等学校長が発行する卒業証明書」等）
4	成績証明書等	・出身学校等の長（学長、学部長、学校長）が作成したもの。 ※出願資格（３）による出願者は、修得済みの科目についての成績証明書並びに履修中の科目がある場合は、科目履修証明書（単位数が記入されたもの。）を提出してください。
5	検 定 料 (30,000円)	・本学所定の振込依頼書を使用し、検定料を納付してください。以下の場合を除き既納の検定料は返還できません。 1）検定料を振り込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合 2）検定料を誤って二重に振り込んだ場合 返還請求の方法 検定料返還請求願（様式は問いません。返還請求理由、氏名（フリガナ）、現住所、電話番号、検定料返還先銀行口座情報（銀行名、支店名、口座種別、口座番号、口座名義(カタカナ)）を明記したもの）を作成し、必ず「C票 検定料振込証明書」を添付のうえ、以下宛へ平成２９年３月３１日（必着）までに、速やかに郵送してください。平成２９年４月１日以降に申し出られた場合、返還に応じることはできませんのでご了承ください。 〒889-2192 宮崎市学園木花台西１丁目１番地 宮崎大学財務部財務課出納係 電話（0985）58-7122 （土曜・日曜及び祝日を除く）
6	払込証明書貼付台紙	・本学所定の用紙を使用し、検定料払込証明書（C票）を貼付してください。

7	あ て 名 票	・ 本学所定の用紙に住所、氏名、郵便番号を記入してください。
8	受 験 票 送 付 用 封 筒	・ 志願者本人の住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手 3 6 2 円を貼ってください。 ※印欄は記入しないでください。
9	そ の 他	・ 出願資格（５）による出願者 1) 日本留学試験：直近２回のうちいずれか１回の日本留学試験成績通知書の写し及び受験票の写しを提出してください。 2) 身分証明書：日本に在住する外国人は、市町村長の発行する「住民票の写し」（在留資格が記載されたもの）を、その他の者はパスポートの写しを提出してください。 3) 出願書類等が日本語以外（英語を除く）の場合は、日本国在外公館、自国の在日公館または日本語学校等の学校長の翻訳証明のある日本語訳を添付してください。

（注）出願書類のうち、出願資格（３）で出願する場合は、最終出身学校等の概要及び講義要項（カリキュラムの内容を明記したもの。）の提出を求めています。

4 障害等のある入学志願者の事前相談

次表に示す障害等があり、受験上の配慮及び修学上の配慮を必要とする者は、出願書類提出前に宮崎大学学生支援部入試課へ相談してください。

（１）相談期限

相談期限は、平成２８年５月２０日（金）までとします。

ただし、期限を過ぎている場合又は出願締切後に、不慮の事故のため受験上・修学上の配慮を必要とされる場合については、早急に宮崎大学学生支援部入試課へご連絡ください。

（２）相談方法

宮崎大学のホームページから相談申請書をダウンロードして、次の内容を記載し、医師の診断書等を添えて提出してください。（郵送可）

- ① 志願者氏名・志望学部・学科
- ② 障害等の種類・程度
- ③ 受験上・修学上の配慮を希望する事項
- ④ 出身学校でとられていた配慮事項
- ⑤ 日常生活の状況
- ⑥ 住所及び連絡先の電話番号

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談等を行うこともあります。

※相談申請書ダウンロード先：<http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/exam/1789-2>

（「宮崎大学」→「入試情報」→「試験・入学に関する情報」→「障害者支援」）

（３）相談先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西１丁目１番地

宮崎大学学生支援部入試課

電話（0985）58-7138〔直通〕 F A X （0985）58-2865

区 分	障 害 の 程 度
①視 覚 障 害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
②聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
③肢 体 不 自 由	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
④病 弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
⑤発 達 障 害	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害のため配慮を必要とするもの
⑥そ の 他	①～⑤の区分以外のもので配慮を必要とするもの

備考 1. 視力の測定は、万国式試視力表によるものとし、屈折異常があるものについては、矯正視力によって測定する。
2. 聴力の測定は、日本工業規格によるオーディオメータによる。

5 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験及び面接試験の成績並びに成績証明書等の内容を総合して行います。

6 試験科目

学 科	試 験 科 目 等
植 物 生 産 環 境 科 学 科	筆記試験（英語・小論文）、面接試験
森 林 緑 地 環 境 科 学 科	
海 洋 生 物 環 境 学 科	
畜 産 草 地 科 学 科	

7 試験日時及び試験場

(1) 試験日時

平成28年7月7日（木）

学 科	試 験 科 目 及 び 試 験 時 間		
	英 語	小 論 文	面 接
植 物 生 産 環 境 科 学 科	9:00～10:30	11:00～12:00	13:30～
森 林 緑 地 環 境 科 学 科			
海 洋 生 物 環 境 学 科			
畜 産 草 地 科 学 科			

(注) 7月7日（木）午前8時30分までに農学部講義棟1階101教室に集合してください。

(2) 試験場

宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学農学部

8 合格発表

平成28年7月21日（木）午前10時 農学部正面玄関に掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。

なお、合否に関する電話等の問い合わせには一切応じません。

9 入学手続等

(1) 合格者は入学確約書を**平成28年8月19日（金）**までに農学部教務・学生支援係に提出してください。なお、期日までに提出しない場合は、入学を辞退したものと扱います。

(2) 入学手続期間等については、入学確約書提出者に対して、別途平成28年12月頃通知します。

① 入学等に要する経費

ア 入学料 282,000円

(注1) 入学料に改定があった場合は、改定後の入学料を納入していただくことになります。

(注2) 納入された入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

i. 入学手続をしなかった場合

ii. 入学料を誤って二重に払い込んだ場合

イ 授業料 前期分267,900円 後期分267,900円
年額535,800円

(注1) 授業料は、新学期開始後にお支払いいただくことになります。

(注2) 授業料のお支払いは、原則として、預金口座からの「口座振替」とします。（口座振替は5月下旬頃の予定です。入学後、5月中旬頃に口座振替日等のハガキを原則として保護者宛に送付しますので、ご確認ください。）

(注3) 授業料に改定があった場合は、改定後の授業料を納入していただくことになります。

(注4) 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

② 提出書類等

ア 学生調書

イ 誓 書

ウ 写 真（2枚）

エ 写真台紙

(3) 出願資格のうち、(3)に該当する者で、平成29年3月までに所定の要件を満たす見込みで受験した合格者が、入学手続までに所定の要件を満たすことができなかった場合は、入学を許可しません。

10 修学条件等

(1) 入学時期及び修学条件

入学の時期は平成29年4月とし、第3年次に編入学するものとします。

入学後2～4年間在学し※、卒業に必要な単位を修得した者には、学士（農学）の学位を授与します。

(2) 既修得単位の取り扱い

本学部に入學する前に在學した大学等において修得した単位については、本学部の定める基準に従って卒業要件単位として認定します。

(3) 修業年限と在学年限

入学後における修業年限（卒業に必要な在学期間）は2年で※、在学年限（在学可能年限数）は4年間とします。

※出身学校で修得した単位の修得状況によっては卒業までに2年を超える場合があります。

11 個人情報の取扱いについて

- (1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人宮崎大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。
- (2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うためにのみ利用します。なお、入学者については①教務関係（学籍、修学指導等）②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請等）③授業料徴収に関する業務を行うためにも利用します。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。

12 注意事項

- (1) 出願後、記載事項の変更は認めません。
- (2) 受付後の出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- (3) 受験票は、受験の際必ず携行してください。
- (4) 編入学に関する出願書類を郵便で請求する場合は、大学宛封筒の表に「宮崎大学農学部編入学学生募集要項請求」と朱書し、返信用封筒（標準角形2号封筒33.2cm×24cmに送付先の住所、氏名及び郵便番号を明記し、郵便切手420円（速達）を貼ったもの）を同封してください。

農学部について

I. 学部のアドミSSION・ポリシー

農学部では、水・土レベルから国土・地球レベルまで、陸生生物から水生生物まで、遺伝子レベルから個体・集団・生態系レベルまで、動植物・微生物生産から食品加工・流通まで、さらに純粋な基礎科学領域から生命科学分野・工学的分野・社会科学的分野までも含む生物関連の総合的な応用科学領域の教育と研究を行っています。そして「地域に根ざし世界の食料・環境問題の克服を目指す」をスローガンに、より柔軟に幅広く農学の専門分野を身につけさせ、主体性と創造性に富み、個性豊かで、国際的にも通用する人材の育成を目指しています。

〔教育理念・目標〕

農学部は、食料、環境、資源及び生命に関する基礎知識の理解をもとに、広い視野で物事を考える総合的判断力や問題解決能力を涵養しつつ、社会の要請に応えるための農学に関する高度な専門性と技術を修得させ、それらに関する問題解決を通じて地域と国際社会に貢献できる人材を育成することを理念とします。本学部では、これらの理念を具現化するために、以下の教育目標を掲げ充実した教育に取り組んでいます。

- ・ 幅広い教養と食料、環境、資源及び生命に関する基礎知識に加え、農学分野における高度な知識及び技術を用いて社会のさまざまな課題を探究し解決できる能力を養成する。
- ・ フィールドにおける実践教育を推進し、農学分野において、地域と国際社会に貢献できる人材を育成する。
- ・ 専門技術者としての倫理観、情報収集能力、文章表現能力、プレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を高める教育を行う。

〔求める人材〕

編入に相応しい学力を備えるとともに、農学に対する強い興味と課題解決意欲を持ち、加えてコミュニケーション能力を有している人を受け入れます。

〔入学者選抜の基本方針〕

客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜します。

〔高等学校等で履修すべき科目、取得しておくことが望ましい資格等〕

農学部は、幅広く農学の専門分野を身につけ、主体性と創造性に富み、個性豊かで、国際的にも通用する人材の育成を目指しています。そのため、まず基礎学力として、「国語」「地歴・公民」「数学」「理科」「外国語」は内容を十分に理解していることを強く望みます。また、農学は、あらゆる分野に関わる学問分野であることから、特定の分野のみならず様々な分野に対する知的好奇心や関心、目標・目的を達成しようとする行動力、そしてコミュニケーション能力を培うことを希望します。

Ⅱ. 学科のアドミッション・ポリシー

学 科	学科のアドミッション・ポリシー
植物生産環境科学科	教育理念・目標
	植物生産環境科学科は、植物生産に関わる専門知識と国際性を備えた指導力を習得し、環境と調和した効率的・持続的な植物生産、流通システムの開発、最適な機械化技術・安全技術の開発、生産基盤及び物質循環型の農村社会の創出ができ、国際的に貢献できる人材の育成を目指しています。
	求める人材
	・理科の基礎的学力を有している人 ・自然現象について知的好奇心の強い人 ・安全・高品質な農・園芸作物の安定供給を考えたい人 ・国際的な視野を広め、日本と海外を舞台にグローバルに活躍したい人 ・地球温暖化・水資源の有効利用などの地球環境に関心を持っている人

学 科	学科のアドミッション・ポリシー
森林緑地環境科学科	教育理念・目標
	森林緑地環境科学科は、森林緑地の環境保全と生態系の修復、森林資源や水資源の循環的・安定的利用に関する最新の知識と技術を有し、これらの問題の解決を目指して専門的な立場で活躍できる人材の育成を目指しています。
	求める人材
	・自然が好きで理科の基礎学力を有している人 ・地球環境問題に関心を持ち、国際的に活躍したいと考えている人 ・生物多様性の保全と森林資源の持続的利用の両立に関心がある人 ・バイオマスの循環的利用に関する先端技術の開発に意欲を持っている人 ・洪水や渇水の問題を解決する水の循環・利用の科学に興味を持っている人 ・都市とみどりの融合した新しい機能的空間の創出に挑戦したい人

学 科	学科のアドミッション・ポリシー
海洋生物環境学科	教育理念・目標
	海洋をはじめとした水域環境と自然に対して興味を持ち、理解しようと努力し、生物の生産や管理で活躍したいと考えている方や水域環境の保全を指向する方を歓迎します。太陽系で唯一水に恵まれた地球では、未解明な生物・非生物資源の宝庫でもある海洋が二酸化炭素の吸収や全球の熱収支において重要な生態系であり、地球の未来を左右します。本学科では広く水圏の生物と環境に関する知識を習得し、ミクロ・マクロな視点で生物の生産利用や環境問題に対応できる人材を育成します。
	求める人材
	・生物と自然科学に関する基礎学力を有している人 ・海洋生物や水圏環境の保全に興味を持っている人 ・水域生物の生産・利活用に関心の高い人 ・水族の生理機能に深い興味を持っている人 ・新種生物・新機能物質の発見・開発などで活躍したい人

学 科	学科のアドミッション・ポリシー
畜産草地 科学科	教育理念・目標
	畜産草地科学科は、良質で安全な畜産物の生産を支える科学を探究します。すなわち、輸入飼料に依存せず、自給飼料生産に基盤を置き、低コスト・省力化の下で限られた自給飼料資源をリサイクルさせる科学の確立を目指します。そのため、本学科では畜産に関する基礎的、応用的な知識を身に付けているばかりでなく、食料・飼料自給率の向上や、自然・社会環境との調和をはかりながら、国内外の「食料・農業・農村」をめぐる諸課題の解決にも貢献できる人材を育成します。
	求める人材
	・生物・化学の基礎学力を有している人 ・動物の飼育や植物の栽培に興味がある人 ・生物生産と自然環境との調和を目指す人